



ごんきや「終活カウンセラー」遠藤清子の

## 生き活きと 終活教室

終活カウンセラー 遠藤清子

ごんきやに入社して22年。お客様の想いをかたちにすることにこだわり仕事に従事。  
大震災を経て、皆様には後悔してほしくないという終活への想いを深め、セミナーにも心を注いでいる。

vol.10  
テーマ

### 悠然と、心のお金持ちとして生きる

中国5千年の知恵の集積である漢方。その中でも、特に古い分野の漢方を学んでこられた高橋千登三さんと、今を生き活きと生きるための知恵を話します。

遠藤 高橋さんは、中国で最古の王朝・殷代から伝わる陰陽五行説を学んでこられたそうですが、

高橋(以下敬称略) 陰陽学を研究して35年になります。宇宙のあらゆることは陰と陽に分類されるという思想で、例えば昼は陽で夜は陰、ま

た、男は陽で女は陰。そしてこの陰と陽があって成り立っているというものです。陰陽の考えに立つと、人の一生は、0、60才までが陽の時代で、61、120才は陰の時代となります。

私は悩みの相談を生業にしていますが、若い人には「生きがい」を求めてください」といい、還暦を超えた人には「死にがい」を求めてください」と話しているのです。



「明日がいい日であるようにと考えたらいいと思います」と話す健生薬局の高橋千登三さんは、薬剤師、整体師、メンタルアドバイザー等々の肩書きを持つ

遠藤 日頃、終活では目標を持っていきたいと話しているので、「死にがい」という言葉には驚きました。

生きがい、死にがい、いずれも年齢に合った目標があるということでしょうか。

高橋 そうです。例えば、若い人には若い人の美しさがあり、一方、白髪になった時には内からにじみ出る美しさがあります。60才を過ぎて若い人と外見の美しさを競り合うのではなく、老齡の美を汲み取れるのが本来の日本人ではないかと思うのです。人生の勝負は60才から。そこから

悠然と「心のお金持ち」として過ごすか、バタつくか――。

遠藤 悠然と生きたい。そのために人と比べるのではなく、自分の人生でありたいと思いますね。

高橋 他人とではなく、10年前の自分と比べることが大切でしょう。

遠藤 終活セミナーでも自分の過去を振り返ってもらいますが、そこでさまざまな気づきを得て、次の一歩を踏み出す人が多いですね。

高橋 冒頭で話した「死にがい」を求めてください」とも同様です。これで死ねたら本望だ、私の人生は幸せだった

たと思えるような生き方。60才まで社会的役目を背負ってきたら、その後は個として、また家庭人として、世間人としてのお役目があるのです。

一人の人間の上には父母が居ります。またそれぞれに父母が居ります。6代で126人になります。126人のうちの一人が欠けても、自分は存在しない。自分の命は自分のものであって自分だけのものではありません。世間さまのもの、そうした価値感を持つと豊かに生きられるのです。

遠藤 ありがとうございます。



1815年創業  
神奈・仏壇・仏具・神具・生花・花環・墓石  
株式会社 **ごんきや**

塩釜本社：〒985-0043 宮城県塩釜市袖野田町24-2  
仙台本社：〒980-0022 宮城県仙台市青葉区五橋2-8-14

**0120-365-554**

ごんきやグループ 家族葬邸宅 ■du:e® 仙台荒井

ご自宅のようなアットホームな空間で  
ゆったりと最期の時をお過ごしいただける家族葬邸宅です

OPEN内覧会  
開催中!

9月25日(月) ▶ 9月30日(土)  
9:00~17:00まで

住所 仙台市若林区荒井7丁目38番2

お問い合わせ **0120-365-554**